

平成27年10月 漁港関係工事積算基準 正誤表

区分	頁・行	誤	正	備考																																																								
1400 設計業務	設計-60 (580)	<p>運用資料-8 灯台設計</p> <p>1 灯台移設実施設計 1-1 適用範囲 本歩掛は、水産基盤整備事業によって生じる灯台移設の設計業務を委託する場合に適用する。</p> <p>1-2 作業区分</p> <table border="1" data-bbox="421 454 1198 970"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>業務内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現況調査</td> <td>貸与資料を基に現況施設の状況、移設箇所周辺の状況、地形、漁港施設や電源の利用状況等を把握し整理する。</td> </tr> <tr> <td>設計計画</td> <td>設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画、⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、⑦限、⑧使用する主な図書及び基準、⑨連絡体制(緊急時を含む)、⑩照査計画、⑪その他、について記載した業務計画書を作成する。</td> </tr> <tr> <td>数量・工費算定</td> <td>設計条件に基づき作成された設計図を基に、数量算出をおこない、併せて概算工費を算定する。</td> </tr> <tr> <td>設計図</td> <td>仕様書、施工計画、及び必要に応じて設計計算を行い、平面図、縦断面図、標準断面図構造詳細図(詳細図)等を作成する。</td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td>業務の成果として、仕様書、施工計画、設計計算書、設計四面、数量計算書に準じて作成する。</td> </tr> <tr> <td>照査</td> <td>下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①設計条件及び現地条件など、基本的条件の整理が終了した段階での照査を行う。 また、地形、地質、利用、自然条件などが図面に反映されているかの確認を行う。 ②設計方針及び設計手法が適切であるかの照査を行う。</td> </tr> </tbody> </table> <p>~~~~~</p> <table border="1" data-bbox="474 1072 929 1241"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">~~~~~</th> </tr> <tr> <th>~~~~~</th> <th>~~~~~</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>~~~~~</td> <td>~~~~~</td> <td>~~~~~</td> <td>~~~~~</td> </tr> <tr> <td>~~~~~</td> <td>~~~~~</td> <td>~~~~~</td> <td>~~~~~</td> </tr> </tbody> </table> <p>~~~~~</p>	名称	業務内容	現況調査	貸与資料を基に現況施設の状況、移設箇所周辺の状況、地形、漁港施設や電源の利用状況等を把握し整理する。	設計計画	設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画、⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、⑦限、⑧使用する主な図書及び基準、⑨連絡体制(緊急時を含む)、⑩照査計画、⑪その他、について記載した業務計画書を作成する。	数量・工費算定	設計条件に基づき作成された設計図を基に、数量算出をおこない、併せて概算工費を算定する。	設計図	仕様書、施工計画、及び必要に応じて設計計算を行い、平面図、縦断面図、標準断面図構造詳細図(詳細図)等を作成する。	報告書作成	業務の成果として、仕様書、施工計画、設計計算書、設計四面、数量計算書に準じて作成する。	照査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①設計条件及び現地条件など、基本的条件の整理が終了した段階での照査を行う。 また、地形、地質、利用、自然条件などが図面に反映されているかの確認を行う。 ②設計方針及び設計手法が適切であるかの照査を行う。			~~~~~		~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	<p>運用資料-8 灯台設計</p> <p>1 灯台移設実施設計 1-1 適用範囲 本歩掛は、水産基盤整備事業によって生じる灯台移設の設計業務を委託する場合に適用する。</p> <p>1-2 作業区分</p> <table border="1" data-bbox="1249 454 2027 970"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>業務内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現況調査</td> <td>貸与資料を基に現況施設の状況、移設箇所周辺の状況、地形、漁港施設や電源の利用状況等を把握し整理する。</td> </tr> <tr> <td>設計計画</td> <td>設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画、⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、⑦限、⑧使用する主な図書及び基準、⑨連絡体制(緊急時を含む)、⑩照査計画、⑪その他、について記載した業務計画書を作成する。</td> </tr> <tr> <td>数量・工費算定</td> <td>設計条件に基づき作成された設計図を基に、数量算出をおこない、併せて概算工費を算定する。</td> </tr> <tr> <td>設計図</td> <td>仕様書、施工計画、及び必要に応じて設計計算を行い、平面図、縦断面図、標準断面図構造詳細図(詳細図)等を作成する。</td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td>業務の成果として、仕様書、施工計画、設計計算書、設計四面、数量計算書に準じて作成する。</td> </tr> <tr> <td>照査</td> <td>下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①設計条件及び現地条件など、基本的条件の整理が終了した段階での照査を行う。 また、地形、地質、利用、自然条件などが図面に反映されているかの確認を行う。 ②設計方針及び設計手法が適切であるかの照査を行う。</td> </tr> </tbody> </table> <p>1-3 設計協議</p> <p>1.1 技術者編成区分表</p> <table border="1" data-bbox="1303 1072 1758 1241"> <thead> <tr> <th rowspan="2">業務内容</th> <th rowspan="2">回 数</th> <th colspan="2">直 接 人 件 費</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計協議(1)</td> <td>2</td> <td>1人/1回</td> <td>1人/1回</td> </tr> <tr> <td>設計協議(2)</td> <td>2</td> <td>1人/1回</td> <td>1人/1回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1)最寄り本：支店(道内)から、設計協議の当該事務所までの間を往復する費用を計上する。 (2)最寄り本：支店(道内)から、海士保安本館(小樽)までの間を往復する費用を計上する。</p>	名称	業務内容	現況調査	貸与資料を基に現況施設の状況、移設箇所周辺の状況、地形、漁港施設や電源の利用状況等を把握し整理する。	設計計画	設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画、⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、⑦限、⑧使用する主な図書及び基準、⑨連絡体制(緊急時を含む)、⑩照査計画、⑪その他、について記載した業務計画書を作成する。	数量・工費算定	設計条件に基づき作成された設計図を基に、数量算出をおこない、併せて概算工費を算定する。	設計図	仕様書、施工計画、及び必要に応じて設計計算を行い、平面図、縦断面図、標準断面図構造詳細図(詳細図)等を作成する。	報告書作成	業務の成果として、仕様書、施工計画、設計計算書、設計四面、数量計算書に準じて作成する。	照査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①設計条件及び現地条件など、基本的条件の整理が終了した段階での照査を行う。 また、地形、地質、利用、自然条件などが図面に反映されているかの確認を行う。 ②設計方針及び設計手法が適切であるかの照査を行う。	業務内容	回 数	直 接 人 件 費		主任技師	技師(A)	設計協議(1)	2	1人/1回	1人/1回	設計協議(2)	2	1人/1回	1人/1回	内容の追加
名称	業務内容																																																											
現況調査	貸与資料を基に現況施設の状況、移設箇所周辺の状況、地形、漁港施設や電源の利用状況等を把握し整理する。																																																											
設計計画	設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画、⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、⑦限、⑧使用する主な図書及び基準、⑨連絡体制(緊急時を含む)、⑩照査計画、⑪その他、について記載した業務計画書を作成する。																																																											
数量・工費算定	設計条件に基づき作成された設計図を基に、数量算出をおこない、併せて概算工費を算定する。																																																											
設計図	仕様書、施工計画、及び必要に応じて設計計算を行い、平面図、縦断面図、標準断面図構造詳細図(詳細図)等を作成する。																																																											
報告書作成	業務の成果として、仕様書、施工計画、設計計算書、設計四面、数量計算書に準じて作成する。																																																											
照査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①設計条件及び現地条件など、基本的条件の整理が終了した段階での照査を行う。 また、地形、地質、利用、自然条件などが図面に反映されているかの確認を行う。 ②設計方針及び設計手法が適切であるかの照査を行う。																																																											
		~~~~~																																																										
		~~~~~	~~~~~																																																									
~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~																																																									
~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~																																																									
名称	業務内容																																																											
現況調査	貸与資料を基に現況施設の状況、移設箇所周辺の状況、地形、漁港施設や電源の利用状況等を把握し整理する。																																																											
設計計画	設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画、⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、⑦限、⑧使用する主な図書及び基準、⑨連絡体制(緊急時を含む)、⑩照査計画、⑪その他、について記載した業務計画書を作成する。																																																											
数量・工費算定	設計条件に基づき作成された設計図を基に、数量算出をおこない、併せて概算工費を算定する。																																																											
設計図	仕様書、施工計画、及び必要に応じて設計計算を行い、平面図、縦断面図、標準断面図構造詳細図(詳細図)等を作成する。																																																											
報告書作成	業務の成果として、仕様書、施工計画、設計計算書、設計四面、数量計算書に準じて作成する。																																																											
照査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①設計条件及び現地条件など、基本的条件の整理が終了した段階での照査を行う。 また、地形、地質、利用、自然条件などが図面に反映されているかの確認を行う。 ②設計方針及び設計手法が適切であるかの照査を行う。																																																											
業務内容	回 数	直 接 人 件 費																																																										
		主任技師	技師(A)																																																									
設計協議(1)	2	1人/1回	1人/1回																																																									
設計協議(2)	2	1人/1回	1人/1回																																																									

運用資料－8 灯台設計

1 灯台移設実施設計

1-1 適用範囲

本歩掛は、水産基盤整備事業によって生じる灯台移設の設計業務を委託する場合に適用する。

1-2 作業区分

名 称	業 務 内 容
現 況 調 査	貸与資料を基に現況施設の状況、移設箇所周辺の状況、地形、漁港施設や電源の利用状況等を把握し整理する。
設 計 計 画	設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制（緊急時を含む）、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。
数量・工費算定	設計条件に基づき作成された設計図を基に、数量算出をおこない、併せて概算工費を算定する。
設 計 図	仕様書、施工計画、及び必要に応じて設計計算を行い、平面図、縦断図、標準断面図構造詳細図（詳細図）等を作成する。
報 告 書 作 成	業務の成果として、仕様書、施工計画、設計計算書、設計図面、数量計算書に準じて作成する。
照 査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①設計条件及び現地条件など、基本的条件の整理が終了した段階での照査を行う。また、地形、地質、利用、自然条件などが設計に反映されているかの確認を行う。 ②設計方針及び設計手法が適切であるかの照査を行う。

1-3 設計協議

1) 技術者編成区分表

業務内容	回 数	直 接 人 件 費	
		主任技師	技師（A）
設計協議（1）	2	1人／1回	1人／1回
設計協議（2）	2	1人／1回	1人／1回

- (1)最寄り本・支店（道内）から、設計協議の当該事務所までの間を往復する費用を計上する。
- (2)最寄り本・支店（道内）から、海上保安本部（小樽）までの間を往復する費用を計上する。